

銅・アルミ

市況見通し

8月

銅

6月の伸銅品生産(速報値)は、前年同月比で2・6%減の5万2880ト。2カ月ぶりで前年同月比マイナスとなった。6月の

銅電線出荷量推定値は同プラス10・5%減の4万8300トで、うち国内が同14・5%減、輸出が同258・1%増だった。

銅輸出は、電気銅が同5・4%減の6万1367ト、銅スクラップが同11・4%減の2万6616ト。

銅輸入は、電気銅が同48・4%減の229ト、銅スクラップが同35・1%増の1万1546トだった。

銅スクラップ景況予想
7月の電気銅建値は

8月銅市況予想レンジ

8月アルミ市況予想レンジ

アルミスクラップ景況予想

橋本アルミ取締役 橋本 健一郎氏レポート



7月の電気銅建値は

8月銅市況予想レンジ		
LME銅セツルメント	8500~9500 ^F	弱い
電気銅建値	135~145万円	弱い
為替(1 ^F)	112~142円 (1カ月間TTM)	円高

FRB当局者が7月の雇用統計の内容を知っていたら、7月会合で0・25%の利下げを決定していたはずだとの意見もある。9月の年同月比はマイナスに利下げはほぼ確定し、

アルミ

6月のアルミ圧延品の生産量(板類・押出類合計)は同0・7%減の14万4775ト。前

6月のアルミ二次合金・同合金地金生産は同3・8%減の6万14770ト、アルミ二次合金が24・4%減の7万7412ト、アルミスクラップが同21・9%増の746ト、アルミ合金スクラップが同1・4%増の7146トだった。

8月アルミ市況予想レンジ		
LMEアルミ現物後場買い	2000~2300 ^F (現物後場買い)	弱い
スクラップ	マイナス30~マイナス50円 (前月最終価格より)	弱い

アルミスクラップ景況予想
LME価格は2496・5^Fから2161・5^F台へと急落し、中国への輸出も低迷した。このため流通(一次問屋)の在庫は、売れず買えずのこう着状態が見込まれる。

状態となっている。伸銅品生産量は再びマイナスとなっている。LME銅・為替予想
今月は「米・FRB(連邦準備制度理事会)の金融政策」と「日銀の金融政策」に左右される。

「米・FRBの金融政策」では、7月30日の連邦公開市場委員会(FOMC)で金利据え置きを決定。7月の雇用統計は、非農業部門雇用者数は前月比11万4千人増となり、失業率は2021年9月以来約3年ぶりの高水準となる4・3%に上昇した。

6月のアルミ二次合金・同合金地金生産は同3・8%減の6万14770ト、アルミ二次合金が24・4%減の7万7412ト、アルミスクラップが同21・9%増の746ト、アルミ合金スクラップが同1・4%増の7146トだった。

アルミスクラップ景況予想
LME価格は2496・5^Fから2161・5^F台へと急落し、中国への輸出も低迷した。このため流通(一次問屋)の在庫は、売れず買えずのこう着状態が見込まれる。